

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

夏期間好調を維持

JR東日本は、8月18日に「夏期間 ご利用状況（7月21日～8月17日までの28日間）」を発表しました。7月22日から28日にかけて、秋田県を中心とした大雨の影響で秋田新幹線にて運休が発生しましたが、期間中の新幹線・特急・急行列車の利用状況は、1,185.4万人で前年比は100%となりました。一方近距離のお客さまのご利用状況（JR東日本管内の近距離きっぷの発売枚数）は、16,532万枚で前年比100.7%でした。また、お盆期間（8月10日～17日の8日間）の新幹線・特急・急行列車は、407.0万人のお客さまにご利用いただき、前年比は101%と発表しました。

●期間中の新幹線・特急・急行列車のご利用状況（主要16区間計） ※7月21日～8月17日までの28日間

	2017年	2016年	前年比	新幹線	在来線
下り	610.5万人	610.6万人	100%	100%	101%
上り	574.9万人	571.9万人	101%	100%	101%
計	1185.4万人	1182.5万人	100%	100%	101%

●主要16区間の利用状況

※お盆期間（8月10日～17日の8日間）

	2017年	2016年	前年比	新幹線	在来線
下り	207.2万人	205.8万人	101%	100%	102%
上り	199.8万人	196.1万人	102%	101%	103%
計	407.0万人	402.0万人	101%	101%	103%

**第1四半期決算過去最高を達成し
夏期間利用状況も好調を維持しているならば
頑張ってきた社員に対して、年末手当で労を報いるべきだ!!**



共に職場から声をあげよう!!